

新宿ものづくりマイスター

技の名匠を認定

区では20年度から、地場産業を含めた区内のものづくり産業の振興を目的に、「新宿ものづくりマイスター認定制度」を実施しています。これは、ものづくり産業の同一業種に10年以上従事し、優れた技術・技能をお持ちの方を、「技の名匠」として認定する制度です。

今年度は、新宿の地場産業である染色業、印刷・製本業をはじめ、帽子製造業、金属原型彫刻業、管楽器修理業の分野で活躍する7名の方を、「技の名匠」として認定しました。

今後、区内のものづくり産業を支える技術者の方を広く紹介し、ものづくり産業の振興を図ってまいります。

【問合せ】産業振興課産業振興係 ☎(3344)0701へ。



1月18日に認定式を行いました

飯島武文さん 東京手描友禅

榊延工房 (戸山二丁目)

下絵のデザインから仕上げまで、すべての作業をご自身で行うことで、模様の細かなイメージが損なわれることのない独自の作品を仕上げています。例えば、力士の場所入りの着物



は、しこ名や出身地から考え出した大胆でりりしいデザインです。大日本蚕糸会「蚕糸有功賞」のほか、多くの賞を受賞し、国の伝統工芸士にも認定されています。

石崎直治さん 日本刺繍

(馬場下町)



江戸刺繍など、日本刺繍の優れた技術の持ち主です。40色以上の絹糸を自由に使いこなし、ご自身で染色するなど、デザインに合わせた作品を完成させていきます。日本刺繍は、糸の撚りが戻らないように配慮するなど、高い技術が必要ですが、糸と針を巧みに操り、次々と濃淡のある細かな絵柄を仕上げている細かな仕事ぶりが見事です。

高岡昌生さん 活版印刷

(有)嘉瑞工房 (西五軒町)



オフセット印刷やIT機器では表現できない、繊細で鮮やかな名刺などの印刷物を得意とし、活版印刷の知識と技術の高い作品は、多くの方に愛用されています。「嘉瑞工房」は、創業者の井上嘉瑞さんが、ロンドン駐在中に学んだ欧文印刷を生かした印刷工房です。欧文活字を読みやすく美しく並べる技術である「タイプグラフィ」の実践と普及に努める高岡さんは、英国王立芸術協会フェローにも選ばれています。

市瀬廣夫さん 帽子製造

アトリエアキコ(有) (上落合三丁目)



型やバランスを大切にしたい、使いやすい形崩れしないおしゃれな帽子を提案し、独自のスタイルを確立しました。世界のトップレベルの技術者であるジャンバルテ氏に師事し、帽子のオートモードの手法を学んだ市瀬さんは、50年以上前に婦人帽子専門店を開業し、現在も注文による帽子作りをしています。柳を刺し子にした素材での型作りや、天然素材の風合いや特性を活かした作品は、多くの方に愛用されています。

坂本国雄さん 金属原型彫刻

サカモト彫刻 (天神町)



メダル・バックル・社章などを製作するための金属原型を作成する、優れた手彫り技術の持ち主です。今では機械彫りが進み、手彫りの職人が少なくなっていますが、鑿(金属を彫る工具)やセラミック砥石などを使い、手彫りならではの緻密な作品を仕上げられています。30〜40年前のメダルなども、粘土等で作ったレリーフに金属彫刻を巧みに施して、見事に復刻しています。

伊藤史安さん 管楽器修理 (フルート)

村松楽器販売(株) (西新宿八丁目)



フルートの美しい音色を保つために、定期的に修理・調整などのメンテナンスを行う技術者です。演奏者が求める「音作り」のため、音程を変化させるための器具の素材を変更するなど、細かな工夫を加えています。それぞれの演奏者の要望に丁寧に対応する伊藤さんは、世界で活躍するプロのフルート奏者からも信頼されています。

高橋一朗さん 管楽器修理 (管楽器全般)

高橋管楽器 (大久保二丁目)



主にサクソフォーンなどの管楽器を修理し、多くの方に信頼される優れた技術をお持ちです。「高橋管楽器」は、戦後、高橋さんの父・治雄さんが、日本で初めて個人で設立した管楽器修理店で、楽器の再生に対する情熱も受け継ぎました。管楽器は非常に繊細ですが、依頼者の要望に添えるため、さまざまな年代・メーカーの修理に対応し、日本全国から依頼が寄せられています。